

花うさぎの「世界は腹黒い」2

日本が普通の国になるように。産経新聞を応援しています。

土屋たかゆき都議会議員の「檄文！」

(2011/11/10) 1/2

(<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/entry/2504381/>)

伊では、緊縮財政に反対して数万のデモが起きた！

連合の諸君、これを許すのか？何故先頭に立たない。政府の飼い犬か？

花うさぎ 2

検索

<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/>

<TPP> 民主PT「慎重に判断」政府に求める提言を決定

民主党の経済連携プロジェクトチーム(PT)は9日夜、国会内で総会を開き、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)交渉参加問題について、「(参加表明すべきでないとの発言が多いことを)十分に踏まえた上で、慎重に判断する」ことを政府に求める提言を決定した。野田佳彦首相の最終的な判断を縛らない形の提言がまとまったことを受け、首相は10日に記者会見し、交渉参加を表明する。(毎日新聞)

民主党内TPP反対派のガス抜きセレモニーを終え、本日、野田首相は参加表明の運びです。始めから結論ありきですから、ここで自民党や野党が内閣不信任案を共同提出しても、この反対派が同調して成立、という可能性はほとんどないでしょう。西田昌司議員の東京政経セミナーでも触れましたが、氏が内閣不信任案に触れると、「それじゃあ政局になっちゃう」と反対急先鋒の民主党議員が語ったというのですから、はじめから離党などの政治生命をかける気はさらさら無い、たんなるパフォーマンスなわけです。

で、いよいよとなったら私たち草の根が議事堂を包囲して突入するくらいの意気込みで民意をアピールしなければなりません。国会突入というと、東京都議会議員の土屋たかゆき氏です。何故か、最近はずれ違いが多くて会えない状態が続いてきたので、氏のブログをチェックしたら、相変わらず小気味の良い真性保守らしい文章を連発しています。というわけで、本日は最新の氏の日記と新しい動画を二つ、「土屋たかゆき」スペシャルをお届けします。



TPP賛成の諸氏！ ついこの前、わが国はアメリカと戦争したことをお忘れか？

親米派と言うのが理解出来ない。

大体、国際政治で、欧州など歴史的に離散集合を繰り返して今日に至っている。

アメリカが日本を守っていると思っている人がいたら、アメリカが「オレンジ作戦」でわが国を戦争に追い込み、更に、ABCD包囲陣で、石油を禁輸して締め上げ、暗号を解読、ルーズベルト大統領は、11月25日の閣議で、『ジャップに一発目を撃たせる』と発言！

何のことはない、かつてアメリカが侵略して強奪し、アメリカの一州にしてしまった、ハワイ住民と兵士は、ルーズベルトの戦意高揚の犠牲になったのだ。

だから今は、地政学的に日本を利用しているに過ぎない。

国際政治は狡猾だ。そんなことは言うまでもない。

九条の会のような、幼稚園が保育園の園児のようなおとぎばなしはその年齢のレベル。イラクのフセインだって、アメリカが応援していた。ビンラディンもそう。都合が悪くなると

「難癖」をつけて攻撃する。

今、アメリカは、金融も投資も国内市場では行き詰っている。昔ではないので、戦争をしかけて「植民地」を作るわけにはいかないから、新たな戦争である「外交」でねじ伏せようとしている。

外交も戦争だ。

アメリカの5家族に1家族は職業があっても、食事が出来ない。家がない。となれば、職業がない人間は山ほどいる。

この対策?? どうすればいいか。

結論は簡単でTPPで、日本を「開放」すればいいだけのことだ。

日本の「外交」なんて「偏差値30台だ」と見透かされている。総理も年中行事のように変わり、野田だなんて名前、とくに忘れてる。

お人好しと言うより、この際だから言わせてもらうが、経済音痴、外交音痴の政治家が、国会議員になっている。なっているから、反対派も24分野で開放が行われる「危機感」などとならない。あるのなら、選挙区で「演説」くらいして、この協定の危険性を国民に説明しているはずだ。私の選挙区、板橋でもない!?

どう言う了見なのか？

雇用が不安定になれば、景気が悪くなる。更に国民道徳が低下する。犯罪が増加する。分かり切ったことではないか？ 金融、投資、公共事業の入札を開放して、この日本はどうなる！ 医療を開放してどうなる！

自分たちの子孫が、外国人にあごで使われ、2600年の歴史ある祖国の伝統、文化が泥靴で踏みじられることを可とするのか？

こんな連中が「選良」と呼ばれている。

冗談ではない。

外国人が闊歩し、日本人が隅に寄せられ、区長が、市長が、そして総理大臣が外国人になる日本になろうとしている。

この現実を国民は「直視」する必要がある。「難しくて分からない」

そんなことはない。簡単な協定だ。「農業だけを守るのはおかしい」

じゃあ、雇用はどうする。他の23分野はどうする。

仮に農業が壊滅して、「言うことを聞かないと米、砂糖などは入れないよ」と言われたらどうする。アメリカの食糧需給率は120%。20%余っている。

経団連なんて、国賊の集団だ。自動車が売ればいい。大企業だけが当面、生き残ればいい。そんな「短絡的」思考しか出来ない、前頭葉が退化した人間の集団だ。

国には、子供たちには将来がある。その将来はどうする。

「拉致された国民」の救出 領土の奪還・憲法の復権



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見！
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」

わからない事は
調べましょう！

検索

iza プログランキング
【全体】4位 【政治】1位
(2011年10月8日時点)

花うさぎの「世界は腹黒い」2

日本が普通の国になるように。産経新聞を応援しています。

土屋たかゆき都議会議員の「檄文！」

(2011/11/10) 2/2

(<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/entry/2504381/>)

伊では、緊縮財政に反対して数万のデモが起きた！

連合の諸君、これを許すのか？何故先頭に立たない。政府の飼犬か？

花うさぎ 2

検索

<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/>

「今」商売が繁盛すればいいと言うのか？

来世にいったら、松下幸之助に叱られるだろう。

商人国家とはこんなことを指す。イタリアでは、緊縮財政に反対して数万のデモが起きた。わが国の勤労者諸氏！連合の皆さん！こんなことを許していいのか？

何故、先頭に立たない。いつから、政府の飼犬になったのか？ゼネストで対抗すべきだ。

アメリカ軍は、日本兵を戦車で引き殺し、沖縄では、住民がいるのを承知で火炎放射器で壕を焼いた。ニューズウィークの表紙には、日本兵の頭蓋骨(しゃれこうべ)をなでながら微笑む美女が写っていた。

どの国もそう。そんな国々に、自国の安全を託すなんて憲法前文があるから、国民も労組も臍抜けになった。

一体、この責任はどうとるのか。

(今日のつちー 2011.11.08)

【話題のTPP関連記事】

株式会社OSA(所在地:大阪市)が運営している日本語のブログ形式のニュースサイト、GIGAZINE(ギガジン)が11月4日から5日にかけて3回にわけて連載したTPPの解説記事が「詳しい、分かりやすい」と注目を集めている。リンクは以下の通り。

- ・第1回 「TPP」とは一体何か？国家戦略室の資料を読めば問題点がわかる
- ・第2回 アメリカで「TPP」を推進して米政府を操る黒幕たちの正体
- ・第3回 TPPは全世界で反対されている、自由貿易ではなく公正貿易が必要

TPP:アメリカは怖くない。野田民主党が怖い!



yohkanのエントリーもご覧ください。

玄葉外相は腹を切れ!

「尖閣はさし上げればいい」

「だいたい岡田(克也・前幹事長)は外務大臣時代に何もできなかった。彼が何一つやらないから、その後を継いだ前原(誠司・元外相)や俺は苦労してんだよ」

10月28日、赤坂の田町通りにある、モダンな韓国料理店。若い男女で賑わう店内の一角にある個室で、政治談議を酒の肴に盛り上がる6、7人のグループがあった。一団の中心で、岡田批判を展開していたのは、他ならぬ日本の外交の総責任者、玄葉光一郎氏である。親しい記者たちに囲まれた玄葉外相、ワイン片手にほろ酔い気分のご様子で……。

「ぶつきらぼうな物言いで先輩の岡田さん呼び捨てでなじり、外務官僚への悪癖もこぼしていました。個室といっても、格子戸で仕切られているだけで、近くにいれば会話も聞こえる。こんなところで、よくもあけすけに話すものだ、無防備さに驚きましたよ」と言うのは、たまたま同じ店に居合わせた、ある政治ジャーナリストだ。

「岡田がしたこと言えよ。沖縄への米軍の核持ち込みの密約問題を蒸し返したくらい。あれでアメリカの印象が悪くなり、仕事がいやになっちゃった」ともこぼしていましたね」

「その置けない記者たちとのオフレコの懇談会だったためか、この夜の外相はいつになく饒舌だったという。しかし、いくら非公式の場とはいえ、次に飛び出した言葉に、政治ジャーナリスト氏は耳を疑った。記者の一人から、竹島や尖閣問題にはどう取り組むか訊かれ、彼はこう言い放ったというのだ。

「そもそも、沖縄は米軍に占領されているようなものだ。普天間の問題を解決するために、アメリカを追い出すしかない。それで、中国が尖閣を欲しいと押し出してくれば、尖閣も中国にさし上げればいい」

「冗談なのか、ご乱心か。一体これをどう理解すればいいのだろう。いくらプライベートの酒の席とはいえ、この暴言は到底看過できるものではない。自虐史観にまみれた極左ならとも」



暴言外相は大丈夫か?

週刊新潮11月17日号25面の記事スキャン画像(編集)(クリックで週刊新潮のHPへ)

(前略)気の置けない記者たちとのオフレコの懇談会だったためか、この夜の外相はいつになく饒舌だったという。しかし、いくら非公式の場とはいえ、次に飛び出した言葉に、政治ジャーナリスト氏は耳を疑った。記者の一人から、竹島や尖閣問題にはどう取り組むか訊かれ、彼はこう言い放ったというのだ。

「そもそも、沖縄は米軍に占領されているようなものだ。普天間の問題を解決するためには、アメリカを追い出すしかない。それで、中国が尖閣を欲しいと押し出してくれば、尖閣も中国にさし上げればいい」

冗談なのか、ご乱心か。一体これをどう理解すればいいのだろう。いくらプライベートの酒の席とはいえ、この暴言は到底看過できるものではない。(後略)

*写真・動画・イベント情報・関連リンク先などは是非、ブログにてご覧下さい!



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
 マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見!
 「凜として愛」「氷雪の門」「誇り~伝えよう日本のあゆみ~」
 「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに…」

わからない事は調べましょう!

検索

iza ブログランキング
 【全体】4位 【政治】1位
 (2011年10月8日時点)